

日奈久っ子



日奈久小HP



八代市立日奈久小学校
学校便り 第6号
令和5年8月25日発行
文責 村山

笑顔いっぱい やる気いっぱい 元気いっぱい

実りのある2学期に

35日間の夏休みが終わりました。充実した夏休みになったでしょうか。

1学期の終業式に、宿題を私から2つ出していました。

1つ目は、「家でのお手伝い」でした。夏休みは、特に家にいる時間も長かったと思います。家族の一員として、家の仕事の一翼を担ってもらいたいと考えていました。学校が始まりましたが、何かしら家の仕事が続けて取り組んでほしいと思います。

2つ目は、「命」でした。いただいた大切な命を失うことがないように、水難事故や交通事故に遭わなくするため、ルールを守って生活できたと思います。

大きな事故やけがをした子供もおらず、元気に2学期を迎えることができますことを大変嬉しく思っています。

さて、今日から2学期が始まりました。

2学期は、約4ヵ月あり、学習や運動などを基に学び合うことが多くあり、たくさんの行事もあります。

まさに、2学期は「実りの秋」を作る学期となります。

日奈久小の子供たちには、2学期にどんどん力をつけ成長してほしいと願っています。

では、現代の学校の授業について、少し説明します。

「学力」を次の3つの要素として捉え育成します。

- ①基礎的な知識・技能をしっかりと身に付ける。
- ②自ら考え、判断し、表現する力を育む。
- ③学習に取り組む意欲を養う。

①は、「読み書き計算」等の力を身に付けます。

②は、①で身に付けた力を使って、自分の考えを決めたりまとめたり伝えたり深めたりします。

③は、①②の学習を進める上で、クラスの友達と対話をしたり、主体的に学習したり、友達と協力して学習（協働的学習）したりする力を付けていきます。

この3つの力をバランスよく育てるために、先生方がICTなどを活用しながら授業を工夫し進めています。

私が小学生だった頃に比べ、現在の情報社会の中で、学習で求められていることが高くなっていると思います。しかし、これからの社会を生き抜く子供たちには必要となっていく力です。学校全体で充実させていきたいと思っています。

また、学校は、友達といっしょに学び合う場・コミュニケーション力を高める場とも言えます。学級では、「お互いの思いや考えの違いを理解した行動をする」「互いの考えを伝え合い、自分の意見と友達の見解を基に考えを深まる学習」を進めていきます。みんなで成長しあう学校・学級を日奈久小みんなで作っていききたいと思います。

このような学習や行事等の活動を通して、一人一人の子供が成長できる機会があるのが2学期と思っています。2学期は、修学旅行、集団宿泊教室、見学旅行などがあります。楽しい行事がありますので、楽しみながら学習を深めて力をつけていきたいと思います。

2学期も保護者の皆様、地域の皆様、日奈久小学校へのご協力をよろしくお願ひします。

2学期は、もう一つ頑張りたいことがあります。

それは、「外遊びやスポーツ」です。

1学期にありました「スポーツテスト」ですが、本校は「走る」「跳ぶ」が少し低い結果がでました。

体育の時間に様々な運動を行っていきますが、子供たちには、熱中症に気を付けながら、休み時間や休みの日も遊びの中で外で体を動かしてほしいと思います。例えば、「おにごっこ」「縄跳び」などがあります。健康な生活ができるよう子供のうちに体をしっかりと作って、学校と家庭で協力して行っていきたいと思っています。よろしくお願ひします。

夏休みの地域の行事

7月29日に丑の湯祭り前夜祭、30日には丑の湯祭りが行われました。

お祭りで地域の方も子供たちも喜ぶことができずばらしいと思ひました。日奈久小の子供たちも丑の湯祭り子供神輿に参加してくれました。

神輿を引きながら、日奈久の温泉街を練り歩くことができました。地域の方からたくさんの声かけと笑顔をいただきました。ありがとうございました。



子供神輿の最後に、ばんぺい湯の前で婦人会の皆様から「日奈久温泉音頭」を踊られたのですが、その中に本校の子供たちが入って、一緒に踊ることができました。運動会のときに、教えていただいた婦人会の皆様とこうやって祭りで一緒にまた踊ることができて、私はとてもジーンとなりました。地域の方からは「小学生が踊っていただいて、ありがとうございました。」と仰っていただきました。

日頃は、地域の方に学校がお世話になってばかりですが、このような機会をいただいて、学校が地域に恩返しをすることが少しでもできていたら、幸ひと思ひました。

